

RECORDS

●平成15年度日本生理学会第2回常任幹事会議事録

日 時：平成15年12月5日午後1時—5時

会 場：私学会館アルカディア（市ヶ谷）

出席者：青木 藩，福島菊郎，泉井 亮，城所良明，貴邑富久子，野村正彦，板東武彦，山岡貞夫，小西真人，佐久間康夫，本間生夫，御子柴克彦，宮崎俊一，宮下保司，岡田泰伸，久場健司，水村和枝，大森治紀，彼末一之，高木 都，前田信治，松井秀樹，今永一成，河南 洋，吉村 恵，久保義弘，奥村 哲（小泉 周代理），金子章道，栗原 敏，倉智嘉久，本間研一（次回大会長），本郷利憲（オブザーバー）

欠席者：丸山芳夫，岡野栄之，曾我部正博，西野仁雄，野間昭典，梶谷文彦，能勢 博，當瀬規嗣（次回大会長）

報告および協議事項

1. 会長挨拶

金子会長から出席者に対し謝辞が述べられた。引き続き、学術会議改革、動物愛護管理法の見直し問題など日本生理学会を取り巻く諸問題に関連して審議を尽くしていただきたいとの挨拶があった。

2. 前回議事録の承認

前回（平成15年3月23日）開催の平成15年度第一回常任幹事会の議事録が原案通り承認された。

3. 庶務報告

金子会長から資料に基づき庶務報告が行われた。また、生理学会各委員会名の英文表記を下記の通りとしたいとの提案があり一部修正のうえ承認された。

日本語名	英語名
財務幹事	Treasurer 時に応じて Vice President
編集広報幹事	Chairperson of Publications and Public Relations 時に応じて Vice President
委員長	Chairperson of
編集・広報委員会	Publications and Public Relations Committee
学術・研究委員会	Science and Research Committee
研究倫理委員会	Research Ethics Committee
国際交流委員会	International Relations Committee
将来計画委員会	Long-Range Planning Committee
JJP 編集委員会	Editorial Board of the Japanese Journal of Physiology
評議員選考委員会	Member Selection Committee
男女共同参画推進委員会	Committee on Equal Opportunity for Women Physiologists
選挙管理委員会	Election Management Committee
会則委員会	Constitution and Bylaws Committee
賞選考委員会	Awards Committee
教育委員会	Education Committee
生理学若手の会	Young Physiologists Group

4. 財務報告

宮崎財務幹事から平成15年度会計の中間報告が行われた。なお、平成16年度予算については6月の総会までの間空白になるのを避けるため、財務幹事が平成16年度仮予算を作り、持ち回り常任幹事会に諮ることとした。

5. 編集・広報委員会報告

岡田編集・広報幹事から日本生理学雑誌に関して中間報告が行われた。HPのリニューアルを外注したいこと、HPのトップページは一般向けとし、ここに生理学の紹介、動物実験に関する生理学会の主張などを掲載すること、このページに賛助会員名を掲載し、それぞれの賛助会員のHPへリンクをかけることなどが提案され、これを了承した。

6. JJP 編集委員会報告

佐久間委員（野間委員長代理）からJJPの編集・発行状況について報告があった。誌名の変更は引き続き検討すること、高橋国太郎編集委員が総説担当編集委員となられたこと、査読協力者の任期を4年としたこと、日本版SPARC（情報学研究所でサポートしている論文アクセスの電子化事業）にGANNとJJPが採択されたこと、Invited PerspectivesとしてIntegrative Physiology : Dynamic ModelingとExerciseを取り上げることとしたこと、入澤賞の選考方法を検討していることなどの報告があった。

7. 選挙管理委員会報告

小西委員長から平成15年4月に行った科研費審査員候補選挙の結果が報告された。

8. 教育委員会報告

河南委員長から教育委員会の活動に関する報告があった。

9. 学術・研究委員会報告

大森委員長から生理学会地方会からの意見が披露され、地方会におけるスポンサー制度（非会員の発表を評議員が推薦する制度）を導入する提案がなされた。検討の結果、地方会での発表資格は地方会当番幹事に一任されていること、会則にも非会員は発表できないとは記載されていないこと、編集・広報幹事の見解も抄録の日生誌への掲載は問題ないとして

いること、から特にスポンサー制度を導入しなくても非会員の地方会参加、発表、抄録掲載に問題ないと判断されその必要は無いとの結論に至った。しかし、地方会に参加する非会員には入会の勧誘を行って欲しい旨、会長から依頼があった。

10. 研究倫理委員会報告

板東委員長から動物愛護管理法の見直し問題に関連して、開催された講演会、シンポジウムのこと、学術会議実験動物研連で検討されている第三者評価機関について報告があった。また、学会HPに掲載予定の動物実験に対する生理学会の意見の委員会案が出来上がったので常任幹事会で承認を求めたいとの提案に対し、常任幹事が持ち帰って検討し、意見があれば年内に委員長まで提出することとし、さらに西村顧問弁護士にも眼を通してもらった上で、HPに掲載することとした。

なお、このステートメントにも合わせるため、生理学会で制定した「生理学領域における動物実験に関する基本的指針」（平成13年3月30日改訂）のうち、基本原則に関する部分（英語版を含む）を改訂したい旨提案があり、一部字句を修正したうえこれを承認した。

11. 将来計画委員会

高木委員長から委員会の活動に関し報告があり、一般向けのHPを作成するときのキャッチフレーズの提案があり、基本的に了承された。また、UMINで年次大会の抄録を公開する件について編集・広報委員会と打ち合わせて実施することとした。

12. 生理学若手の会

若手の会代表奥村氏から夏の学校では200名近い受講者があったこと、来年の札幌大会においてSSP (Student Scientist Program) を実施することについて報告があった。

13. 男女共同参画推進委員会

水村委員長からアドバイザー制の導入に向けての委員会の活動、大会時の保育室設置について、また男女共同参画協会連絡会について報告があった。

14. 第36回 IUPS Congress 組織委員会報告

岡田庶務委員会委員長から庶務を担当する業者の

決定が行われたこと、栗原財務委員会委員長から生理学会会員に対しおこなっている募金活動の現状、倉智プログラム委員会委員長から札幌大会におけるIUPSシンポジウムの準備状況などが報告された。

15. 日本学術会議生理学研究連絡委員会報告

金子第7部会員から研連の準備状況について、また学術会議へ各研連から科研費審査員を推薦する方法が大幅に変更になり、学術会議は学術振興会へ候補者を資料として提出し、振興会のプログラム・オフィサーが他からも提出された資料と合わせて決定することになった旨の報告があった。これに伴い推薦数がこれまでの約50%増しと大幅に増えるので選挙管理委員の手数を省くため、会長から常任幹事が投票により候補者リストを作る作業を省いてはどうかとの提案があった。種々の意見が出され、評議員の投票の後、同数者に対しては常任幹事の電子投票を行うことになったが、さらに選挙管理委員長と検討を重ねることとなった。

16. IUPS役員会報告

金子IUPS第一副会長から2003年4月と11月に行われた2005年IUPSサンディエゴ大会の国際プログラム委員会の模様が報告された。シンポジウムの企画に関しては会員からも多数の提案をいただいたが、全体を関連するテーマ(Track)としてまとめ、その中で分子レベルからシステムレベルまでの一連のシンポジウムを行うこととなったこと、Trackの選定を行う作業が行われたことなどが報告された。

17. 第81回日本生理学会大会(札幌大会)準備状況の報告

青木当番幹事から、会期は2004年6月2日-4日、会場は札幌コンベンションセンターで行う準備が進められていることが報告された。

18. 第82回以降の日本生理学会大会開催地について

会長から第82回大会(2005年、平成17年)は5月18日-20日まで仙台(当番幹事、丹治 順、丸山芳夫)、第83回大会(2006年、平成18年)は群馬、第84回大会(2007年、平成19年)は大阪(大阪大学が当番を務める)、第85回大会(2008年、平成19年)は東京(当番幹事、佐久間康夫)で予定されていることが報告された。

その他の協議事項

19. 生理学研究史の編纂について

倉智幹事から、2009年のIUPS大会へ向けて、わが国の研究者によって行われた生理科学の分野をリードするような研究業績をまとめる生理学研究史を外部のサイエンスライターに依頼して編纂する計画が披露され、資料(史料)の保存など、協力が要請された。なお、この計画はIUPS組織委員会の活動として行い、資金としては大会時のランチョンセミナーの収入を当てる計画が述べられた。

20. 次期常任幹事の選挙について

事務局から、次期常任幹事の選挙スケジュールとしては2004年4月15日締め切りで評議員による投票、4月末日までに最終決定としたい旨提案があり、了承された。